

教科	科 目	単位数	学年・クラス
情報	情報 I	2	1 年 1 組・2 組

1 使用教材

使用教科書	改訂版 高等学校 情報 I Next
出版社	数研出版
副教材等	全商情報処理検定テキスト
出版社	実教出版

2 学習の目標

- 1 コミュニケーションやコンピュータ、情報社会と人との関わりについて知識・技能を養う。
- 2 問題の発見・解決に向けて情報とプログラミングなどの情報技術を活用する力を養う。
- 3 情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに情報社会と人との関わりについて理解している。
② 思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業の受講状況	A	B	B	授業における発表やグループ活動の参加状況を含みます。
課題提出	B	A	A	提出物の出来栄のほか、使用した技術进行评估します。
授業内活動	A	A	B	グループ活動や発表などの参加状況、内容进行评估します。
定期考査	B	B	A	計算問題や記述問題を含みます。

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1編 情報社会の問題解決	情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を考え、身に付ける。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて科学的に捉えて考察し、理解する。 情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解する。 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し、改善する。 情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画する。
2 学期	第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第3章 コンピュータとプログラミング	メディアの特性とコミュニケーション手段と特徴について、科学的に理解し、目的や情報に応じて適切に選ぶ。 情報デザインが人や社会にはたしている役割を理解する。 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し、表現する。 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している。 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用する。 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果をふまえて問題の適切な解決方法を考える。
3 学期	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	情報通信ネットワークのしくみや構成要素、プロトコルの役割および情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供するしくみと特徴について理解している。 データの収集、整理、分析および結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している。 情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画する。